

■米国：トランプ政権、アメリカ・ファースト・エネルギー計画を公表

2017年1月20日に就任したトランプ新大統領は、ホワイトハウスのホームページを通じて「アメリカ・ファースト・エネルギー計画」を公表した。この計画では選挙キャンペーン中の公約を踏襲し、安価なコストで米国内の資源活用を最大化するとしている。このためエネルギー業界にとって負担となっている規制や不必要な政策を撤回すると約束した。この中にはオバマ政権の温暖化政策の基盤となった「気候行動計画 (Climate Action Plan)」が含まれている。これによりシェール・オイル、ガス開発を促進し、その収益を道路や橋梁などのインフラ事業に投資すると説明している。さらにトランプ政権ではクリーン・コール事業の推進により石炭産業を復活させるとしている。またエネルギー開発は環境管理の下で進められるべきとして、クリーンな大気／水資源、生態系の保護や自然保護区の保全を最重要と位置付け、環境保護局はこれらの課題に取り組むと発表した。これに対して一部の環境団体は気候変動問題を無視していると非難している。